

## 平成21年6月期 第1四半期決算短信

平成20年11月7日

上場会社名 株式会社 ビューティ花壇  
 コード番号 3041 URL <http://www.beauty-kadan.com>  
 代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長 (氏名) 小田敬史  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 高山浩司  
 四半期報告書提出予定日 平成20年11月13日

上場取引所 東

TEL 03-5776-5850

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成21年6月期第1四半期の連結業績(平成20年7月1日～平成20年9月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年6月期第1四半期	882	—	△22	—	△21	—	△31	—
20年6月期第1四半期	855	—	△6	—	△5	—	△6	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年6月期第1四半期	△1,266.98	—
20年6月期第1四半期	△254.31	—

## (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	%
21年6月期第1四半期	1,171	—	480	—	38.1	—	18,174.20	—
20年6月期	1,302	—	513	—	37.1	—	19,708.56	—

(参考) 自己資本 21年6月期第1四半期 446百万円 20年6月期 483百万円

## 2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年6月期	—	0.00	—	342.00	342.00
21年6月期	—	—	—	—	—
21年6月期(予想)	—	0.00	—	1,174.00	1,174.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

## 3. 平成21年6月期の連結業績予想(平成20年7月1日～平成21年6月30日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期連結累計期間	1,950	—	40	—	40	—	20	—	815.00
通期	4,200	10.3	200	87.8	202	90.2	99	253.5	4,055.95

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

## 4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無  
 新規 — 社(社名) ) 除外 — 社(社名) )
- (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有  
 (注) 詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。
- (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの  
 ① 会計基準等の改正に伴う変更 有  
 ② ①以外の変更 無  
 (注) 詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。
- (4) 発行済株式数(普通株式)  
 ① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 21年6月期第1四半期 24,552株 20年6月期 24,540株  
 ② 期末自己株式数 21年6月期第1四半期 0株 20年6月期 0株  
 ③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 21年6月期第1四半期 24,545株 20年6月期第1四半期 24,471株

## \*業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の実績等は、業績の変化等により、上記数値と異なる場合があります。

・当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

## 定性的情報・財務諸表等

### 1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間におけるわが国の経済は、米国のサブプライムローン問題に端を発した世界的な金融市場の混乱に加え、原油・原材料価格の高騰の影響により、企業収益や個人消費が低迷するなど景気動向の減速懸念が増大しております。

このような状況のもと、当社グループの売上高は、その81.8%を占める主力の生花祭壇事業が堅調に推移した結果、882,323千円となりました。

売上総利益については、生花の卸売単価が低価格で推移したことと輸入比率を高めたことによる仕入原価の低減により、181,969千円となりました。

販売費及び一般管理費については、広告宣伝費や業務委託費を抑えたものの、輸入増加に伴う荷造運賃、内部統制などの強化に伴う人件費や顧問料の増加等があり、204,498千円となりました。

その結果、営業損失は22,529千円となりました。また、経常損失は21,333千円、四半期純損失は法人税等調整額や少数株主損益により31,098千円となりました。

事業の種類別セグメントの業績は次の通りであります。

#### (生花祭壇事業)

生花祭壇事業の売上高は、721,375千円となりました。台湾にある連結子会社・美麗花壇の売上高が39,156千円と大幅に増えたことが寄与しました。増加の理由は、前期は台湾式の生花祭壇と比較して単価の高い日本式の生花祭壇施行件数が0件とまだ実績がなかったのに対して、当期は112件と大幅に増えたためです。日本式の生花祭壇は全祭壇の施行件数の19.6%しか占めておりませんが、単価が高いため、売上高では66.6%を占めるに至り増収につながりました。また、受注件数も前年同期の475件から20.0%増加し、570件となっております。

また、国内においては、厚生労働省の人口動態統計速報（平成20年8月分）によると、死亡人口は引き続き増加傾向にあり、平成20年7～8月の累計において177,428人と前年同期比で1.7%増加しました。ただし、前年は3.7%増と大きく増えていたのに比べると若干増加率が低下しております。また、経済産業省「特定サービス産業動態統計調査」によりますと、葬儀業の平成20年7～8月の取扱件数は前年同期比1.1%増の50,982件、売上高は1.5%増の78,124百万円となっております。このような状況のもと、当事業の国内売上高は、682,219千円となりました。施行件数においても前年同期が3,518件に対し191件増加し、3,709件となりました。支社別では、京都支社が撤退に伴い売上高が減少したものの、同支社の顧客の一部を引き継ぎ、また、大型祭壇の受注もあった大阪支社、そして積極的な営業活動により顧客数を31.5%増と大幅に伸ばした西東京支社の売上高が大きく伸びました。

生花祭壇事業は、収益の向上を目指して社葬・大型葬の獲得に取り組んでおり、従来の営業拠点に限定することなく全国で受注・営業活動を開始しております。その結果、当第1四半期においては32件の社葬・大型葬の獲得を目指していたのに対し、実績は40件と目標より8件多く獲得しました。また、前年同期と比較しても11件増となりました。葬儀の小型化を背景に葬儀単価が下落傾向にある中、当社の生花祭壇の受注単価は、昨年同期比で4.1%上昇しております。これらの理由により、営業利益は110,415千円となりました。

#### (生花卸売事業)

生花卸売事業の売上高は、卸売市場における生花の単価が比較的安価で推移したこともあり、135,005千円となりました。農林水産省の「花き流通統計」（平成20年8月分）によると、切り花累計の単価は7月は前年同期比で7.8%減、8月は1.7%減とマイナスになっております。輸入比率（本数ベース）は、前年同期の14.1%に比べ4.1ポイント上昇し、当期は18.2%となったものの、主力の生花祭壇事業の原価率低減を優先し、輸入品を社内消費分として重点的に割り当てたため、外部販売に十分に商品を割り当てることが出来ませんでした。また、輸入比率の上昇に伴う荷造り運賃の増加により販売費及び一般管理費も増加しました。その結果、営業利益は1,043千円となりました。

#### (その他事業)

その他事業は、ブライダル事業及びプランツスケープ事業からなり、売上高は25,942千円となりました。営業損失は11,759千円となっております。連結子会社の株式会社クラウンガーデネックスにおいては、収益性の低い不採算顧客との取引を整理し、売上総利益率の改善を図りましたが、売上高の減少に伴い売上総利益が減少し、販売費及び一般管理費は増加しました。

また、オフィス・商業施設の植栽による空間演出を行うプランツスケープ事業は、株式会社メガロスが運営する恵比寿にある女性専用のフィットネスクラブ&ラウンジのBIVIOの室内外の植栽・メンテナンスを請け負う大型注文がありました。

※ 前年同期比較に関する情報は参考として記載しております。

## 2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ130,639千円減少し、1,171,597千円となりました。

流動資産は前連結会計年度末に比べ103,450千円減少し、567,209千円となりました。これは主に現金及び預金の減少等によるものであります。固定資産は前連結会計年度末に比べ27,188千円減少し、604,388千円となりました。

当第1四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末に比べ97,389千円減少し、691,184千円となりました。

流動負債は前連結会計年度末に比べ25,641千円減少し、425,028千円となりました。これは主に未払法人税等の減少等によるものであります。固定負債は前連結会計年度末に比べ71,748千円減少し、266,155千円となりました。これは社債及び長期借入金の減少等によるものであります。

当第1四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末に比べ38,250千円減少し、480,413千円となりました。これは主に剰余金の配当による利益剰余金の減少等によるものであります。

### キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結会計期間における現金及び現金同等物は（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ93,911千円減少し、181,771千円となりました。

当第1四半期連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

#### （営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第1四半期連結会計期間において営業活動の結果使用した資金は13,262千円（前年同期は25,282千円の使用）となりました。これは、これは、主に税金等調整前四半期純損失22,876千円を計上したことによるものであります。

#### （投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第1四半期連結会計期間において投資活動の結果使用した資金は2,480千円（前年同期は53,338千円の使用）となりました。これは、主に有形及び無形固定資産の取得による支出3,433千円があった一方で、差入保証金の回収による収入637千円によるものであります。

#### （財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第1四半期連結会計期間において財務活動の結果使用した資金は80,719千円（前年同期は1,172千円の使用）となりました。これは、主に長期借入金の返済による支出18,365千円や社債の償還による支出50,000千円、配当金の支払額8,392千円によるものであります。

※ 前年同期比較に関する情報は参考として記載しております。

## 3. 連結業績予想に関する定性的情報

平成20年8月13日に開示しました平成21年6月期の業績予想につきましては、当第1四半期連結会計期間において生花卸売事業とその他事業の進捗が遅れているものの、主力の生花祭壇事業が堅調に推移していることから当社グループ全体ではほぼ計画通りに推移しておりますので、変更はありません。

## 4. その他

### （1）期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

### （2）簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

#### ①固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

### （3）四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

#### ①四半期財務諸表に関する会計基準の適用

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

②重要な資産の評価基準及び評価方法

たな卸資産

通常の販売目的で保有するたな卸資産については、従来、商品・原材料・貯蔵品については主として最終仕入原価法による原価法、仕掛品については主として個別法による原価法によっておりましたが、当第1四半期連結会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」（企業会計基準第9号 平成18年7月5日）が適用されたことに伴い、それぞれ、商品・原材料・貯蔵品については主として最終仕入原価法による原価法（貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法）、仕掛品については個別法による原価法（貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法）により算定しております。

なお、この変更による損益への影響はありません。

③連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱いの適用

当第1四半期連結会計期間より、「連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い」（実務対応報告第18号 平成18年5月17日）を適用しております。

なお、この変更による損益への影響は軽微であります。

5. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成20年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	181,771	275,682
受取手形及び売掛金	322,822	350,280
商品	2,840	3,482
原材料及び貯蔵品	13,807	13,731
仕掛品	313	1,080
その他	51,031	32,325
貸倒引当金	△5,376	△5,922
流動資産合計	567,209	670,660
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	123,796	192,334
減価償却累計額	△39,699	△40,033
建物及び構築物(純額)	84,097	152,300
工具、器具及び備品	133,852	129,571
減価償却累計額	△77,505	△72,169
工具、器具及び備品(純額)	56,347	57,401
土地	127,445	127,445
その他	10,143	13,349
減価償却累計額	△7,843	△7,562
その他(純額)	2,299	5,786
有形固定資産合計	270,189	342,935
無形固定資産		
のれん	9,658	10,537
その他	88,932	96,781
無形固定資産合計	98,591	107,318
投資その他の資産		
その他	252,780	206,822
貸倒引当金	△17,173	△25,498
投資その他の資産合計	235,607	181,323
固定資産合計	604,388	631,577
資産合計	1,171,597	1,302,237

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成20年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	66,410	63,506
未払法人税等	3,194	33,404
賞与引当金	16,696	—
株主優待引当金	3,500	3,500
その他	335,226	350,257
流動負債合計	425,028	450,669
固定負債		
社債	130,000	180,000
長期借入金	107,035	125,955
退職給付引当金	6,777	5,496
その他	22,342	26,451
固定負債合計	266,155	337,903
負債合計	691,184	788,573
純資産の部		
株主資本		
資本金	209,100	209,040
資本剰余金	129,100	129,040
利益剰余金	109,289	148,781
株主資本合計	447,489	486,861
評価・換算差額等		
為替換算調整勘定	△1,276	△3,213
評価・換算差額等合計	△1,276	△3,213
少数株主持分	34,200	30,016
純資産合計	480,413	513,664
負債純資産合計	1,171,597	1,302,237

(2) 四半期連結損益計算書  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第1四半期連結累計期間 (自平成20年7月1日 至平成20年9月30日)
売上高	882,323
売上原価	700,354
売上総利益	181,969
販売費及び一般管理費	204,498
営業損失(△)	△22,529
営業外収益	
受取利息	567
受取地代家賃	1,856
助成金収入	1,440
その他	573
営業外収益合計	4,436
営業外費用	
支払利息	1,604
その他	1,636
営業外費用合計	3,241
経常損失(△)	△21,333
特別損失	
支社閉鎖損失	1,258
その他	284
特別損失合計	1,543
税金等調整前四半期純損失(△)	△22,876
法人税、住民税及び事業税	928
法人税等調整額	5,045
法人税等合計	5,974
少数株主利益	2,248
四半期純損失(△)	△31,098

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

当第1四半期連結累計期間  
(自 平成20年7月1日  
至 平成20年9月30日)

営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純損失 (△)	△22,876
減価償却費	16,899
のれん償却額	878
長期前払費用償却額	250
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△377
賞与引当金の増減額 (△は減少)	16,696
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	1,281
受取利息	△567
受取賃貸料	△1,856
助成金収入	△1,440
支払利息	1,604
支社閉鎖損失	1,258
売上債権の増減額 (△は増加)	29,231
たな卸資産の増減額 (△は増加)	1,333
その他の資産の増減額 (△は増加)	△15,124
投資その他の資産の増減額 (△は増加)	△1,799
仕入債務の増減額 (△は減少)	3,763
その他の負債の増減額 (△は減少)	△14,644
その他	880
小計	15,394
利息の受取額	1,112
賃貸料の受取額	1,856
助成金の受取額	1,440
利息の支払額	△2,117
支社閉鎖による支出	△1,258
法人税等の支払額	△29,689
営業活動によるキャッシュ・フロー	△13,262
投資活動によるキャッシュ・フロー	
貸付けによる支出	△500
貸付金の回収による収入	1,911
有形及び無形固定資産の取得による支出	△3,433
差入保証金の差入による支出	△1,096
差入保証金の回収による収入	637
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,480
財務活動によるキャッシュ・フロー	
長期借入金の返済による支出	△18,365
社債の償還による支出	△50,000
株式の発行による収入	120
配当金の支払額	△8,392
その他	△4,082
財務活動によるキャッシュ・フロー	△80,719
現金及び現金同等物に係る換算差額	2,551
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△93,911
現金及び現金同等物の期首残高	275,682
現金及び現金同等物の四半期末残高	181,771



(4) 継続企業の前提に関する注記  
該当事項はありません。

(5) セグメント情報

a. 事業の種類別セグメント情報

当第1四半期連結累計期間 (自 平成20年7月1日 至 平成20年9月30日)

	生花祭壇 事業 (千円)	生花卸売 事業 (千円)	その他 (千円)	計 (千円)	消去又は 全社 (千円)	連結 (千円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	721,375	135,005	25,942	882,323	-	882,323
(2) セグメント間の内部売上 高又は振替高	-	208,197	9,998	218,195	△218,195	-
計	721,375	343,202	35,941	1,100,519	△218,195	882,323
営業利益 (又は営業損失 (△))	110,415	1,043	△11,759	99,699	△122,228	△22,529

(注) 1. 事業区分の方法

事業の区分は、内部管理上採用している区分によっております。

2. 各区分に属する主要な製品

(1) 生花祭壇事業……生花祭壇、供花

(2) 生花卸売事業……菊、胡蝶蘭などの生花

(3) その他 ……ブライダル、ギフトなどの祝事に関する生花、園芸装飾等の緑化事業商品

b. 所在地別セグメント情報

当第1四半期連結累計期間 (自 平成20年7月1日 至 平成20年9月30日)

	日本 (千円)	アジア (千円)	計 (千円)	消去又は 全社 (千円)	連結 (千円)
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	861,930	20,393	882,323	-	882,323
(2) セグメント間の内部売上高又は 振替高	-	18,920	18,920	△18,920	-
計	861,930	39,313	901,244	△18,920	882,323
営業利益 (又は営業損失 (△))	95,818	2,685	98,503	△121,032	△22,529

(注) 1. 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

2. 日本以外の区分に属する主な国又は地域

アジア…… 台湾

c. 海外売上高

当第1四半期連結累計期間 (自平成20年7月1日 至平成20年9月30日)

海外売上高が連結売上高の10%未満であるため、記載を省略しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記  
該当事項はありません。

「参考資料」

前四半期に係る財務諸表等

(1) (要約) 四半期連結損益計算書

科目	前年同四半期 (平成20年6月期 第1四半期)
	金額(千円)
I 売上高	855,184
II 売上原価	689,914
売上総利益	165,270
III 販売費及び一般管理費	171,982
営業損失(△)	△6,711
IV 営業外収益	
1. 受取利息	709
2. 受取地代家賃	2,169
3. その他	279
V 営業外費用	
1. 支払利息	1,109
2. 賃貸不動産費用	422
3. その他	503
経常利益	△5,589
税金等調整前四半期純損失 (△)	△5,589
税金費用	4,940
四半期純損失(△)	△6,205

(2) (要約) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

	前年同四半期 (平成20年6月期 第1四半期)
区分	金額 (千円)
I 営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前第1四半期純損失 (△)	△5,589
減価償却費	15,764
のれん償却額	878
長期前払費用償却費	309
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	2,768
賞与引当金の増減額 (△は減少)	20,188
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	1,155
受取利息及び受取配当金	△709
支払利息	1,109
売上債権の増減額 (△は増加)	△5,483
たな卸資産の増減額 (△は増加)	6,558
その他資産の増減額 (△は増加)	△6,338
その他投資の増減額 (△は増加)	△10,255
仕入債務の増減額 (△は減少)	19,402
その他負債の増減額 (△は減少)	△14,546
その他	67
小計	25,279

	前年同四半期 (平成20年6月期 第1四半期)
区分	金額 (千円)
利息及び配当金の受取額	636
利息の支払額	△1,364
法人税等の支払額	△49,833
営業活動によるキャッシュ・フロー	△25,282
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	
投資有価証券の取得による支出	△3,000
貸付金の回収による収入	703
固定資産の取得による支出	△62,172
固定資産の売却による収入	554
差入保証金の差入による支出	△1,549
差入保証金の回収による収入	12,126
投資活動によるキャッシュ・フロー	△53,338
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入れによる収入	100,000
長期借入金の返済による支出	△5,000
社債の償還による支出	△50,000
配当金の支払額	△42,090
その他	△4,082
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,172
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額	3,583
V 現金及び現金同等物の増加額 (△は減少)	△76,209
VI 現金及び現金同等物の期首残高	266,324
VII 現金及び現金同等物の期末残高	190,144

(3) セグメント情報

a. 事業の種類別セグメント情報

前年同四半期 (平成20年6月期第1四半期)

	生花祭壇事業 (千円)	生花卸売事業 (千円)	その他 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
I. 売上高及び営業利益						
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	647,878	169,167	33,138	855,184	-	855,184
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	-	208,594	8,089	216,684	△216,684	-
計	647,878	377,762	46,228	1,071,869	△216,684	855,184
営業費用	591,262	357,440	52,075	1,000,778	△138,881	861,896
営業利益又は営業損失	56,616	20,321	△5,847	71,091	△77,803	△6,711

(注) 1. 事業区分の方法

事業の区分は内部管理上採用している区分によっております。

2. 各区分に属する主な製品

(1) 生花祭壇事業 …… 生花祭壇、供花

(2) 生花卸売事業 …… 菊、胡蝶蘭などの生花

(3) その他 …… ブライダル、ギフトなどの祝事に関する生花、園芸装飾、造園等の緑化事業商品

3. 営業費用のうち、消去又は全社の項目に含めた配布不能営業費用の金額は、76,543千円であり、その主なものは当社の管理部門に係る費用であります。

b. 所在地別セグメント情報

前年同四半期 (平成20年6月期第1四半期)

	日本 (千円)	アジア (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
I. 売上高及び営業利益					
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	828,539	26,645	855,184	-	855,184
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	-	-	-	-	-
計	828,539	26,645	855,184	-	855,184
営業費用	749,630	35,722	785,353	76,543	861,896
営業利益又は営業損失	78,909	△9,077	69,831	△76,543	△6,711

(注) 1. 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

2. 日本以外の区分に属する主な国又は地域

アジア …… 台湾

3. 営業費用のうち、消去又は全社の項目に含めた配布不能営業費用の金額は、76,543千円であり、その主なものは、当社の管理部門に係る費用であります。

c. 海外売上高

前年同四半期 (平成20年6月期第1四半期)

海外売上高が連結売上高の10%未満であるため、記載を省略しております。